

## 一中生の皆さんへ

## 自分を大切に・尊重・感謝の気持ちを

世界中の人々がこれまで経験したことのない社会状況となり、先行きの見えない不安を誰もが抱いています。

生徒の皆さんも学校の長い休みが続く中で「これからどうなるのかなあ」という思いで、家庭での学習をすすめながら、日々の暮らしを送っていることでしょう。

このような時だからこそ、改めて「自分を大切にする」という気持ちを持つてほしいと思います。むずかしく考える必要はありません。「早寝・早起き・朝ごはん」とよくいわれますが、基本的な生活習慣を守つて過ごし、ゆつたりとした気持ちで、その日の「良かったこと」を振り返りましょう。自分自身の良いところを自分で認めましょう。「自分を大切にする」気持ちは、他の人を大切にする気持ち、他者を「尊重」する思いにつながります。

今、新型コロナウイルスの感染がある中で、医療に関わる人々をはじめ、本当に多くの人々が不安を抱えながら仕事に就き、私たちの暮らしを支えてくださっています。

一中生の皆さん一人ひとりが「自分を大切にする」気持ちを持ち、他の人を大切にする気持ち、「尊重」する思いにつなげ、私たちの暮らしを支えてくださっている人々への「感謝」の気持ちへと広げていってください。そのような思いは、学校が再開したときに一中生同士が仲間を大切にすることに必ずつながります。そして、いじめのない安心して過ごす学級、学校にすることができます。

5月末まで学校の休業は続きますが、登校日を設けることができるようになりました。短く限られた時間にはなりますが、学習面や健康面の「こと」、心配に思っていることや良かつたことなどを先生たちにいろいろ話をし、『自分を大切にする』気持ちにつなげていきましょう。

（校長 茨木 久治）